



人吉一中 学校だより

# Asazakura

校訓  
理想は高く  
心清らに

令和5年1月13日発行

## 本校の教育目標

### 自らに誇りを持ち、主体的に学び、考え、行動する生徒の育成

新年明けまして、おめでとうございます。令和5年（2023年）が幕を開けました。今年卯年ということで、私も5回目の年男を迎えることになりました。昨年末はコロナウイルスの感染が増加傾向になりましたが、今年はどうなるか、まだまだ予断を許さない状況に、心配しているところです。

今週は、延期していた生徒会役員改選と立候補者の立ち会い演説会を行いました。立候補者はそれぞれ自分の学校をよくしていきたいという思いや生徒会への意気込みを熱く語ってくれました。その素直でまっすぐな気持ちに、演説を聴いていて本当に胸が熱くなったり、うれしくなったりしました。

さて、火曜日の始業式では「**準備がなければ成果はない**」という話をしました。新年を迎え、私たちは、気持ちも新たにいろいろな夢を持ちます。夢や目標を描くとき、達成できた時のことはよく思うのですが、その**途中のプロセス**がなければ達成はできません。

年末から年始にかけて高校生のバレーボールやサッカー、バスケット、ラグビーなど多くの全国大会が行われました。**全国の舞台で活躍する選手たちは輝いて見えますが、どの生徒にも、どのチームにも、これまでコツコツと積み上げてきた地道な練習や日々の生活が土台となっているのを忘れてはなりません。**

話の中で3年生には、「高校入試や卒業、卒業後の新しい生活に向けて準備をしましょう」と話をしました。2年生には「最高学年になる準備を」1年生には「先輩になる準備を」と続けました。目標に向かって準備を怠らないことが、やがて大きな成果につながっていくことでしょう。（始業式は、リモートで行いました）



## ある表彰式で

新聞社が主催したデザイン展で最優秀賞に選ばれたのは、二十三歳の青年だった。

彼は、もちろん優れた才能や 感覚の持ち主だったのだが、表彰式でのインタビューで「今後にもむけて、一言お願いします。」との問いに、しばらく考えた後、

「今後頼りになるものは、才能ではなく、**あらゆる努力を続けること**だと思う」と答えている。

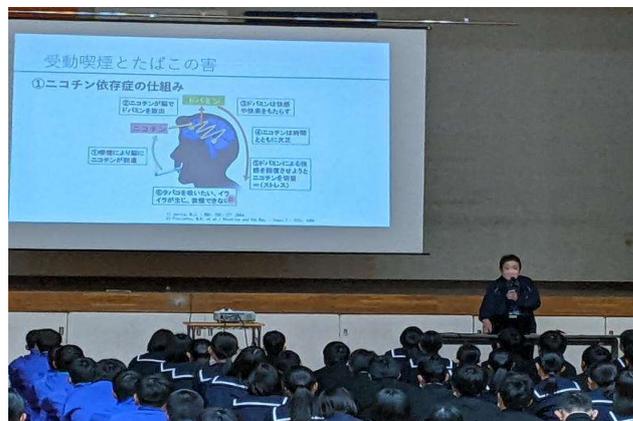
このエピソードも始業式の中で紹介したものです。

人は、成功した人を見たとき「あの人は才能がある」とか「あんな才能があったらいいのに」と口にしつづけます。しかし、それまでにその人がどんな努力を積み重ねてきたかにはあまり目が向きません。

この青年は、自分の才能を過信することなく、今後頼りになるのは自分の努力だと答えています。

自分の道を切り開いていくのはいつでも、自分自身です。これは、周りを頼るなどという意味ではありません。周りに相談したり、力を借りたりしながら、目標に向かって努力し続けることが大事なのではないかと思っています。

# 一中ウオッチング



12月12日から2泊3日で2年生は修学旅行に行ってきました。1日目は広島市の平和祈念公園に行き、語り部の方のお話を伺った後、原爆資料館を見学し、その後、原爆の子の像の前で平和集会を行いました。ウクライナで戦争が起こっている今日だからこそ、戦争の火種をなくすことが大事だとあらためて学ぶことができました。

12月16日（金）には、薬物乱用防止教室を保健福祉部の方をお招きして行いました。お話の内容は、タバコの人体に与える害と、覚醒剤の恐ろしさについてでした。

タバコによる肺への悪影響をはじめ、吸わない人でも近くにいる副流煙によって被害を被ることがあることをお話いただきました。また、覚醒剤についても、脳に与える恐ろしい影響について詳しく知ることができました。



12月10日（土）PTAの役員の方々と学校支援ボランティアの方のご協力を得て、門松作りを行いました。年に1回のことなので、なかなか作り方も覚えていませんでしたが、ベテランの方々にご指導を受けながら、今年も立派な門松を校門に飾ることができました。

年々このような季節を感じる飾り物や催し物が減っているように感じますが、少しでも子どもたちに新年を新しい気持ちで迎えてもらえたらうれしいです。

1月12日（木）に生徒会役員を決めるための立ち会い演説会（リモートによる配信）と投票を行いました。今回の選挙には合計10名の生徒が立候補し、1人ずつどんな学校にしたいのか、どんな活動を考えているのかを具体的に熱意を込めて話してくれました。カメラ越しではありましたが、きっと立候補者や応援責任者の想いは伝わったのではないかと思います。当選した役員だけでなく、全生徒で学校生活を充実したもののできるよう、積極的な取組を期待しています。